一般質問

市政のここが聞きたい！

６月通常会議では15人の議員が登壇しました

ユーチューブで議会映像を見てみませんか？

ユーチューブ
６月通常会議

北上市議会では、ユーチューブ「岩手県北上市議会公式チャンネル」で本会議の様子を配信しています。各議員の欄などに掲載しているＱＲコードをスマートフォンで読み取り、ご視聴ください。

【ＱＲコードの読み取り方】
① 「カメラ」または「ＱＲコードリーダー」アプリを起動し、ＱＲコード（白黒のマス）を画面の中に収める。
② 画面に表示される読み取り結果をタップする。
※お使いのスマートフォンの機種によって操作方法が異なる場合があります。

消防団　団員処遇改善の第一歩は運営費交付金!!

太田　洋市　議員

地域の安心・安全を担う消防団の処遇改善を

Q 消防団運営費交付金の内容と算定根拠は。

A 消防団各部が屯所、車両を維持管理するために必要な費用を市が負担しており、一部当たりの年額平均が３万円であることから設定している。

Q 雨衣が全員に配備されていない理由は。

A 雨天時の水防または捜索活動を想定し60着を用意している。近年の風水害激甚化を考慮すると同時に出動する団員数増大が見込まれ、全員に貸与する計画である。

今回の質問
① 北上市消防団について

第３セクターは地域の力になるべき！

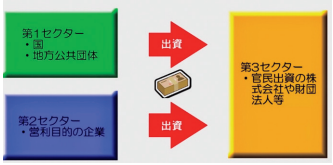
梅木　忍　議員

第３セクターと市との今後の関わり方は？

Q 経営破綻に陥った第３セクター「北上都心開発株式会社」と類似の事態が今後起きないようにする対応策は。

A 経緯などを検証するため行政マネジメントシステムによる検証作業（内部監査）を実施する。その結果を受けて、第３セクターに関する今後の在り方について整理していく。

今回の質問
① 環境美化の推進について
② 第３セクターと市との今後の関わり方について



▲市（地方公共団体）が損失を補てんすることも。

北上の魅力・大切な情報をしっかり届けよう！

藤原　慶　議員

伝わる広報へ、当市への専門人材の登用は

Q 広報を抜本的に強化するには、当市の理念や課題を理解し戦略的に発信を担う専門人材（例：クリエイティブディレクター）を登用すべきではないか。特定任期付職員制度などの活用を含めた検討状況は。

A 現時点での専門部署新設や組織見直しは考えていないが、広報体制の戦略的強化が必要との認識のもと、特定任期付職員制度などの活用も含め、専門人材登用を今後の選択肢として研究していく。

今回の質問
① 北上市の文化芸術振興と青少年鑑賞事業の持続的支援について
② 市の情報発信力とブランド価値の向上に向けた体制整備について

安心安全なくらしは、休日当番医体制が大事！

居駒　勉（いこま　つとむ）　議員

休日当番医体制の課題・問題点は

Q 休日当番医の体制はどうなっているか。

A 年間を通じ、県立中部病院、北上済生会病院の他、市内の医療機関が対応している。

Q 体制について課題・問題点は。また、医師会との協議はしているか。

A 医師は通常の診療に加え多様な患者の対応と感染症の流行期は夜遅くまでの対応など負担が生じている。少ない医療資源を有効に活用していくかが課題である。限りある医療資源を確保するとともに医師会と連携し事業継続する。

今回の質問

① 休日当番医の体制について
② 地域づくり組織、自治会への支援について
③ 福豆鬼節分会について

みんなが快適で楽しい居場所に

田島　清美（たじま　きよみ）　議員

学童保育所における施設環境の公平性を

Q エアコンは各部屋に完備されているか。

A 学習室には全て設置・配備がされている状況。なおホールなどの部屋については運営者からの相談がある都度、状況を見ながら対応していく。

Q 快適に過ごす上で洋式トイレの整備は最重要課題ではないか。

A 一部残っている和式トイレについては、洋式化の整備を運営者と協議しながら対応していく。

今回の質問

① 学童保育所における公平性について
② 訪問介護事業者支援の充実について

イジメの重大事態を確認してから１年半経過

高橋　孝二（たかはし　こうじ）　議員

「イジメ問題」第三者委員会の終結はいつか

Q 「イジメ問題の重大事案」について第三者委員会の開催に時間がかかり過ぎている。結論はいつ頃になるのか。

A いじめ重大事態の調査委員会は、これまで12回の会議を重ねている。事案の性質上、複数の関係者からの詳細な聞き取りや客観的な事実確認に時間を要している。現時点では具体的に結論が出る時期を明言することはできないが、調査が完了次第、当事者に対し速やかに結果を報告する予定としている。

今回の質問

① 本通り市営駐車場設置と運営によるこれまでの市の財政負担について
② 「都心開発（株）」について今後の市の対応について
③ 北上市固定資産税（木造家屋）誤賦課に伴う還付事務の進捗状況について
④ 児童生徒の「イジメ問題」の対応について

皆さんの声が届いて反映される市政に

千田　優子（ちだ　ゆうこ）　議員

犯罪被害者や家族に寄り添った支援を！

Q 犯罪被害者等支援の現状と今後の方針は。

A 現状は関係機関への紹介とパンフレット設置を実施している。見舞金や相談窓口など、他自治体の動向を踏まえ、連携方法や条例制定についてさらに研究していく。

Q 二次被害防止のためには十分な研修が必要。職員の研修や人員配置は現体制で実施可能なのか。

A 実施可能と考えている。まずは関係機関が実施する研修を受講し、相談スキルを向上させていく。

今回の質問

① 犯罪被害者等支援について
② 北上市立大学（仮称）設置について

犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギュっとちゃん」

3カ年取り組んで実績がないのはおかしくないか？

高橋（たかはし）　晃大（あきひろ）　議員

入居していない民間アパートの活用策を！

Q 令和4年～令和6年に取り組んだ、借上型市営住宅事業の検証はどうだったのか。

A 借上住宅の立地場所を北上市都市計画マスタープランの都市居住区域および地域拠点内に特定したことや、民間アパートの入居状況が好況であったことが原因となり、本制度の利用が無かったと推察している。今後、市営住宅入居者へのアンケート調査、宅地建物取引業協会の関係団体へのニーズ調査および他市町村の事例調査などを行う。

今回の質問
① 市営住宅（平屋）ついて
② アパート世帯の住民登録推進について

やれないではなく、やらなくちゃいけないこと

髙橋（たかはし）　久美子（くみこ）　議員

無医地区へは対面診療ができる医療提供体制を

Q 認定された無医地区へは、へき地医療支援を受けながら医療提供体制の基盤を作っていく必要があると考える。まずは拠点病院になり得る県立中部病院、北上済生会病院に相談に行くべきではないか。

A 当市には公立病院および診療所がないため、診療所への医師派遣は難しいが、巡回診療はできるのではと考える。巡回診療業務を担える可能性のある県立中部病院、北上済生会病院からへき地拠点病院に対する意見を伺いたいと考える。

今回の質問
① 無医地区に対面診療が出来る医療体制を
② マイナ保険証あるなしに関係なく全員に資格確認書を
③ 滞納は市民のＳＯＳとして寄り添った対応を

住みよい地域づくりに支援をするべき

八重樫（やえがし）　民徳（たみのり）　議員

人口減少地域の地域づくり支援について

Q 川東と和賀地区西部の人口減少が特に大きい。人口減少の原因をどう捉えているか。

A 出生数の低下、都市部への人口流出、高齢化社会の進行など、複合的要因が関係し、当市の状況も同様ではないかと考える。

Q 人口減少地域の課題を整理し、住みよい地域づくりに取り組むべきではないか。

A 地域づくり組織から提示される目標や重点事項について具体化に向けた支援を考え、人口減少しても暮らし続けられる住み良い地域の実現に向けて支援していく。

今回の質問
① 人口減少地域の支援について
② 障がい者の自立促進について

「収入が物価上昇に追いつかない」くらし応援施策を

安徳（あんとく）　壽美子（すみこ）　議員

経営と生活を守る物価高騰対策を！

Q 岩手県の賃上げ支援の実績と評価および市独自の支援事業の実施は。

A 令和5年度は市内219件、約1億円の支援を実施。令和7年度は市内87件1150人分を交付申請中。実質賃金はマイナスで物価高騰に追い付かず事業者に多大な影響を及ぼしている。社会情勢の変化、国や県の動向を捉え、求められる対策について検討し実施する。

Q 子どもの医療費窓口負担の無料化を。

A 子どもの医療費助成は全国市長会を通じて全国一律の制度創設を要望する。

今回の質問
① 物価高騰対策について
② 市立大学設置について

大学事業の返済負担率は年間予算の１％未満

白鳥（しらとり）　顕志（けんし）　議員

大学は30年後の投資、長兵衛道路に学ぶ

Q 会社経営に「現状維持を目指すと必ず衰退する。発展を目指してやっと現状維持」という考え方がある。市立大学構想は、そういう考え方を持っているのか。また、大学事業の返済負担率は市の年間予算の何％か。

A 大学設置は人口減少、予測不能な社会においても北上市が生き残るための「未来への投資」である。大学構想単体での返済負担率は年間予算の１％未満である。

今回の質問
① 「子宮頸がんワクチンのリスク」と「食生活によるガン予防」について
② 北上市立大学設置事業の「償還バランス」と「建築物の意義」について

▲白鳥議員がＡＩで生成した大学のイメージ

＊長兵衛道路…八重樫長兵衛市長の時代に、企業誘致を進めるため造られた道路。現在の北上工業団地を東西に貫く一本道で、長兵衛道路と呼ばれている。

市民の賛否が大きく分かれた中で進めるべきでない！

平野（ひらの）　明紀（あきのり）　議員

市立大学の設置は、今後どう進めるのか

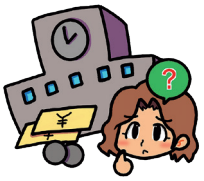
Q 基本構想策定委員長が示した「他大学との差別化」「市長のリーダーシップ」の課題をどう受け止めるか。

A 基本計画策定の過程で具体に検討する。議会での決定がなされれば、市長自ら先頭に立って推進していく。

Q 今後の進め方、次のステップとする基本計画策定の予算提案の見通しは。

A パネル展示や市民説明会などで理解を図り、再開発手続きの日程も考慮し、議会提案のタイミングを検討する。

今回の質問
① 市立大学の設置について
② 市職員の人材確保・育成について



悩みがある人にもっと寄り添っていこうよ！

熊谷（くまがい）　浩紀（こうき）　議員

自殺を防止するための積極的な取り組みを！

Q 自殺者を増やさない取り組みに「ゲートキーパー（＊）」や「心のサポーター」があるが、養成講座参加者数の推移は。

A 「ゲートキーパー」は令和５年度は64人だったが令和６年度から出前講座メニューとして行ったことから１４４人と増加している。日常的に相手に寄り添い、精神的な支えとなる「心のサポーター」の養成だが役割には共通する部分も多く、現在は、よりサポート範囲が広い「ゲートキーパー」の養成に注力している。

今回の質問
① 自殺を抑止するためのゲートキーパーや心のサポーターについて
② 新総合防災情報システム（SOBO-WEB）について
③ 避難所の通信インフラの新たな手法について

＊ゲートキーパー…自殺のリスクにつながるような悩みに気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげ、見守る人のこと。

放ってはいけない！ギャンブル依存症は解決できる

小原（おばら）　享子（きょうこ）　議員

ギャンブル依存症への理解促進を

Q ギャンブル依存症は、競馬・競輪だけでなく、パチンコ・パチスロ・仮想通貨などでも陥る。対応と周知啓発は。

A ギャンブル依存症は、生活困窮や精神的ストレスを引き起こすなど自殺リスクを高める要因のひとつ。関係部署で情報共有を行い、研修への職員の参加を進めていく。県の相談窓口、家族教室などの情報提供、ＮＰＯ法人全国ギャンブル依存症家族の会岩手が開催する相談会など、民間団体を含めた活動の紹介を行う。

今回の質問
① ギャンブル依存症の対策について
② 誰もが安心して搾乳ができる環境づくりについて